

提案団体名 株式会社Future Dimension Drone Institute

(複数団体による提案も可とします)

○提案内容 仮題 大型ドローンによる目視外補助者なし運用における物資配送(離島モデル)

(1) 自社の保有するスマートアイランドの実現に資する技術と実績等	技術の分野
<p>弊社は母体であるレイヤーズ・コンサルティング(大企業向け経営コンサルティングファーム)の経営ノウハウと、関係企業様の保有技術を活用し、スクール事業を主軸にして実証実験を積み重ねている。 弊社の強みとしてスクール事業を通じた解析技術やドローンオペレーション技術を有し、各省庁の補助金を用いた実証事業を行い配送に関するノウハウを蓄積している。</p> <p>□資する技術 <スクール分野> ・土木測量(i-Construction基準対応): 大手建機メーカー様が国内4000を超える建設現場で培った3D測量ノウハウ</p> <p>・森林測量(森林資源量調査): 森林空撮による森林資源量調査ノウハウ エリア毎の木の木の本数、1本毎の直径、高さ、位置を自動で算出・記録が可能。</p> <p>・圃場生育診断 ・ドローンに関する基礎技能と基礎知識に関する分野</p> <p><実証分野> ・大型ドローンによる配送(2018年度~2019年度実証) ・顔認証システム(2019年度実証) ・遠隔診療(2020年度実証) ・害獣駆除(2019年度実証) ・農地作付確認(2019年度実証~2020年度実証)</p> <p>※実績については(3)その他にて記載しております。</p>	<p>下記のうち、該当するものを○で囲んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通・モビリティ エネルギー 物流 防災 観光 教育 健康・医療 環境 産業 担い手確保・人材育成 その他
(2) (1)の技術を用いて解決する離島の課題のイメージ	
<p><想定している地域課題> ①物資を本土からの配送に頼っている離島における、災害時に孤立する住民への災害物資・医薬品の供給 ②人口減少による荒廃農地の増加とそれに伴う害獣被害、高齢化による認知症の増加と受診へのアクセスの悪さ ③働く場所がないことによる働き手・若年層の流出</p> <p>課題解決の方向性 【魅力あふれるサステナブルな離島モデル】</p> <p>・利用技術 大型ドローンにおける目視外補助者無しの一入運用による災害時を想定した物資配送の技術的検証 長距離長時間飛行・遠隔制御システム・リアルタイム映像伝送・顔認証システム</p> <p>遠隔診療と大型ドローンによる医薬品配送の技術的検証 高精細なテレビ通話・映像伝送・顔認証システム</p> <p>多分野活用の技術的検証 土木測量・森林測量・害獣センシング(定点観測+ドローン空撮)・圃場調査・災害現場調査(火災時、港の崩壊時) 風力発電や波力発電の点検・テラポッド点検・太陽光パネル点検・災害ゴミの回収(曳航フライト)</p> <p>ドローンの観光ツール化の技術的検証 例 VRゴーグルによる空からの離島観光、海産物のドローン配送、ドローンによるフィッシング(ドローンフィッシュ) マリンスポーツにおける利用(空撮、海上ドローンサッカー、フロートデバイスを装着したドローンによるレース)</p> <p>上記モデルを弊社がリードし、以下の流れで社会実装を行う。 ①大型ドローン・運用体制を構築 ②運用ノウハウの移管(マニュアル化と地域内でのパイロット養成) ③多分野活用モデルへシフト(パイロットの更なる高度人材化) ④弊社サポートなしに、自治体が自立してドローン活用の推進</p>	

(3)その他

<実績>

2017/09/04 「ドローンを活用した地域協働事業に関する包括連携協定書」の調印を行う。(和気町・弊社)
2017/12/04 内閣府に「国家戦略特区」提案書の提出を行う。(和気町・弊社連名で提出)
※中山間地域の特性および河川上空空間を活かした大型ドローンによる輸送改革・地域創生モデル実証特区

2018/02/05 「災害時における支援協力に関する協定書」の調印を行う。(和気町・弊社)
2018/05/28 コマツ認定ドローン測量実践コースの講習を開講する。
2018/08/27 国土交通省・環境省の「山間部等でのドローン物流検証実験事業」に採択される。
2019/03/29 平成31年度地方創生推進交付金事業に採択される。(事業期間 令和元年度～三年度)
※事業名 「ドローンを活用した地域課題解決プロジェクト」

2019/04/01 町職員で構成する「和気町ドローン航空隊」を創設
2019/06/21 総務省 平成31年度IoTの安心・安全かつ適正な利用環境の構築事業に採択される。
※事業名 「中山間地域における大型ドローンの目視外・補助者なしによる安心・安全かつ効率化されたIoTシステム構築事業」
2019/08 コマツ認定森林見える化コースの講習を開講する。
2020/02 コニカミノルタ認定農業コースの講習を開講する。

<直近のメディア掲載>

◆新聞・雑誌

2019/10/06 山陽新聞 「ドローンで山間部に荷物配送 和気町で2度目の検証実験開始」
2019/11/27 読売新聞(岡山) 「人あり」
2019/11/30 日本経済新聞 電子版 「岡山×ドローン 可能性を探り官民が実証実験」
2020/01/29 日本経済新聞 朝刊31面・電子版 特集「IN FOCUS」
2020/2/6 日経コンピュータ号「ドローンテック」P24-37の特集内

◆テレビ

2019/12月放映 NHK岡山
2020/1/11放映 テレビせとうち「プライド」
2020/1/31放映 岡山放送OHK「金バク」
2020/2/10放映 テレビ東京「ワールドビジネスサテライト(WBS)」

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
株式会社Future Dimension Drone Institute	林 大暉	0869-93-4866	info.f@fddi.jp